

# 組立ガイド

## TURBO アクティブバイク



## はじめに

この概説版の組立ガイドには、重要な情報が含まれています。注意深くお読みいただき、安全な場所に保管してください。

この組立ガイドでは、バイクを箱から取り出して組立てる方法を説明します。このガイドに記載されている手順や指示事項は、スペシャルライズドのすべての Turbo アクティブバイクに適用できる一般的なガイドラインです。お買い上げいただいたバイクの正しいセットアップ方法が不明な場合は、カスタマーサービスにお問い合わせいただくか、最寄りのスペシャルライズド正規販売代理店にお越しください。

このガイドは、使用法、整備、修理またはメンテナンスガイドを目的としたものではありません。あらゆる整備、修理またはメンテナンスについては、最寄りのスペシャルライズド正規販売代理店で行ってください。









この組立ガイドは、お使いのバイクのユーザーマニュアルに取って代わるものではありません。ユーザーマニュアルには、お使いのバイクに特化した安全、性能、技術に関する重要な情報が掲載されていますので、必ずお読みいただき、参照用に保管してください。またスペシャルライズドバイクオーナーズマニュアル（「オーナーズマニュアル」）はすべてお読みいただく必要があります。追加となる重要な一般的な情報やインストラクションが含まれており、オーナーはそれらに従わなければなりません。オーナーズマニュアルをお持ちでない場合は、[www.specialized.com](http://www.specialized.com) からダウンロードできるほか、カスタマーサービスまたは最寄りのスペシャルライズド正規販売代理店にご連絡のうえお受け取りください。

お使いのバイクのサスペンションやペダルなどの特定のコンポーネント、あるいはヘルメットやライトなどのアクセサリーなどに関する安全、性能、整備についての追加情報も入手可能です。この組立ガイドの情報とコンポーネントメーカーのマニュアルに記載されている情報との間に相違点がある場合は、カスタマーサービスまたは最寄りのスペシャルライズド正規販売代理店にお問い合わせください。

すべての説明内容および通知は変更の対象であり、予告なしに更新されることがありますのでご了承ください。定期的な技術面の更新情報は、[www.specialized.com](http://www.specialized.com) を参照してください。

## シンボルマーク


この組立ガイドには、重要な内容をお伝えするさまざまなシンボルマークや警告サインが使用されています。それらの説明は以下のとおりです。

	警告！このシンボルマークと表記の組み合わせは、回避しないと重大な事故や死亡事故を引き起こす可能性のある、潜在的に有害な状況を示しています。警告の多くには、「制御を失って転倒する可能性があります」などの文言が使用されています。いかなる転倒も重大な事故または死亡につながる可能性があるため、傷害や死亡の可能性が常に繰り返し言及されているわけではないことに留意してください。
	注意：安全を喚起するこのシンボルマークと「注意」という表記の組み合わせは、回避しないと軽傷または中程度の傷害を引き起こす可能性のある、潜在的に有害な状況を示しています。
	安全を喚起するシンボルマークを伴わない「注意」の表記だけが表示されている場合は、回避しないとバイクに深刻な損傷が生じるか、または保証が無効になる可能性のある状況を示しています。
	このシンボルマークは、特に重要な情報であることを示しています。
	このシンボルマークは、図示されているとおりに高品質のグリスを塗布することを示しています。
	このシンボルマークは、摩擦力を高めるため、図示されているとおりにカーボンアセンブリペーストを塗布することを示しています。
	技術的ヒントは、取り付けや使用に関して役立つヒントやコツをお伝えするものです。
	詳細は、バイクに付属しているオーナーズマニュアルを参照してください。
	詳細は、バイクに付属しているユーザーマニュアルを参照してください。

このガイドは、元となる「オリジナルインストラクション」が英語で記載されており、必要に応じて他の言語で「オリジナルインストラクションの翻訳」が行われている場合があります。

他の言語バージョンは [www.specialized.com](http://www.specialized.com) からダウンロードできます。

## 組立


 警告！組立を正しく行うには、機械を取り扱う基礎的なスキルと、トルクレンチなどの高品質の工具類が必要です。バイクの正しいセットアップに不安がある場合は、スペシャルライズド正規販売代理店に組立を依頼してください。

## バイクの点検

■ パーツを梱包から取り出す際は、すべてのパーツに配送中に損傷が生じていないことを確認してください。損傷がある場合は、カスタマーサービスにご連絡ください。

## トルク基準値

- トルク基準値は、バイクに付属しているユーザーマニュアルに記載されているほか、締め付けるボルト近辺のパーツに印字されています。
- また一般的なトルク基準値は、オーナーズマニュアルにも掲載されています。

 警告！バイクの留め具（ナット、ボルト、ビス）を適正な締め付けトルクで締め付けることは、安全のために非常に重要です。締め付けトルクが弱すぎると、留め具がしっかりと固定されない可能性があります。締める力が強すぎると、ねじ部がつぶれたり、留め具が伸びたり変形したり、あるいは割れたりすることがあります。


不適切な締め付けトルクを適用すると、コンポーネントに不具合が生じ、制御を失って転倒する原因となる可能性があります。トルク基準値が指定されている場所は、各ボルトを必ずその基準値で締めてください。初めての乗車後、そしてその後も継続的に、すべてのボルトの締め付け具合を再確認し、コンポーネントがしっかりと固定されていることを確認してください。

## ワイヤレスコンポーネント

- ワイヤレスコンポーネントが取り付けられているバイクは、使用前に必ず充電してください。詳細はコンポーネントメーカーのユーザーマニュアルを参照してください。

## 梱包

- バイクを運搬する際に再び使用することができますので、すべての梱包材を保管しておいてください。

 **リサイクル：**パッケージの梱包材を処分する際は、お住まいの地域のリサイクルガイドラインに従い、責任を持って行ってください。

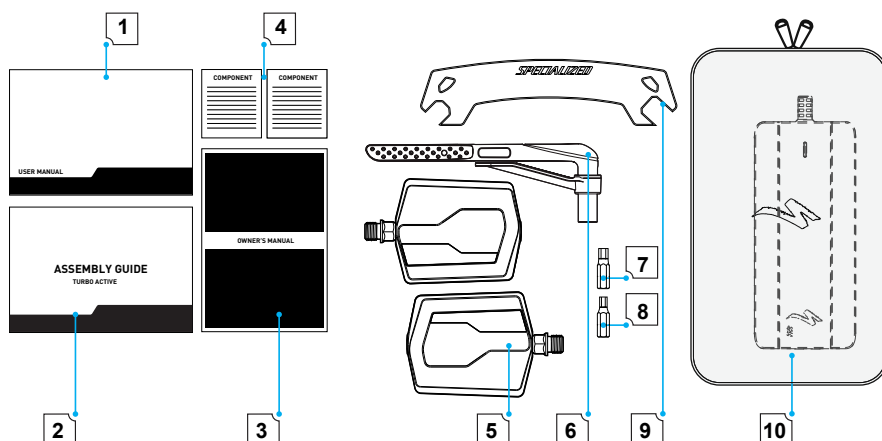
## モーターサポートと起動

- システムの電源が入っている状態で、クランクが回転してトルクが検出されるとすぐにモーターサポートが作動します。これには、バイクにアクティブに乗車していないとき、例えば、バイクが作業台にあるとき、または逆さまにひっくり返され、クランクが回されているとき、チェーンを動かしてクランクを回したり、バイクを押しながら歩いていてクランクを回したり、意図的であれ、無意識であれ、クランクを回してホイールを動かしている場合も含まれます。これは、意図せずにモーターが作動してしまうことを防ぐため、モーターアシストを希望しない場合はシステムの電源を切る必要があることを意味します。

 **警告！** バイクを使用していないとき、および／またはバイクの修理や点検の際には、必ずバッテリーの電源をオフにしてください。

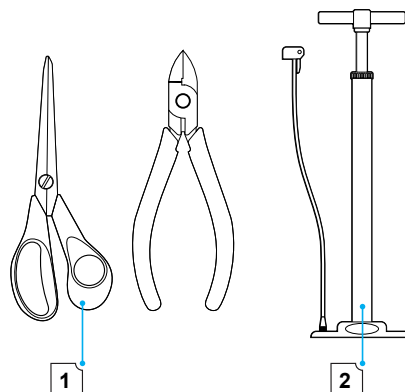
### 小箱の中身

1. ユーザーマニュアル
2. 組立ガイド
3. オーナーズマニュアル
4. コンポーネントマニュアル
5. ペダル (オプション)
6. トルクレンチ (1 ~ 10 Nm)
7. 六角レンチ／六角ビット
8. トルクレンチ／トルクビット
9. フラットレンチ
10. スペシャルライズド Turbo バッテリー充電器



### 必要な工具

1. ハサミまたはケーブルタイカッター
2. バイク用フロアポンプ (ゲージ付き)



### 組立手順の解説ビデオ

スマートフォンのカメラで右のQRコードをスキャンすると、お買い求めいただいたバイクの完全な組立手順の解説ビデオを、ご自分の言語でご覧いただけます。

1. スマートフォンのカメラアプリを開きます。
2. カメラの焦点をQRコードに合わせ、コードを軽くタップします。
3. 画面に表示された指示に従って、ビデオをご覧ください。

Let's Build  
This Sweet  
Ride!



Assembly  
Instructions

## 組立の準備



電動アシストバイクは、モーターサポートのないバイクに比べて重い場合があります。取り扱い、持ち運び、持ち上げの際には注意してください。このバイクの開梱と組立は、他の人に手伝ってもらうと、よりスムーズに作業が行えます。

1. 印が付けられた側のテープを剥がし、箱を開けます。
2. 小箱を取り出し、バイクの組み立てに使用する中身のパーツをすべて取り出します。



3. 箱からフロントホイールのサポート梱包材を取り外します。このサポート梱包材は取っておきます。
4. バイクを箱から引き出し、シートポストのサポート梱包材を取り外します。



注意：パッケージ内の梱包材は、バイクスタンドにはなりません。組み立て中は、サイドスタンドが取り付けられている場合はバイクをサイドスタンドで支えるか、またはしっかりした表面に立てかけて、安定させてください。



## ハンドルバーの調整

ステムが次のどのタイプであるかを確認します：(A) スレッドレスシステム、(B) Flow Stem (フローステム)、(C) Como 一体型ステム。該当するタイプを確かめ、その説明に従ってください。



バイクのハンドルバーは、箱に安全に梱包するため、回転させてあります。

ハンドルバーをトップチューブに留めているジップタイを取り外します。



注意：ジップタイを取り外す際に、バイクを損傷しないように注意してください。

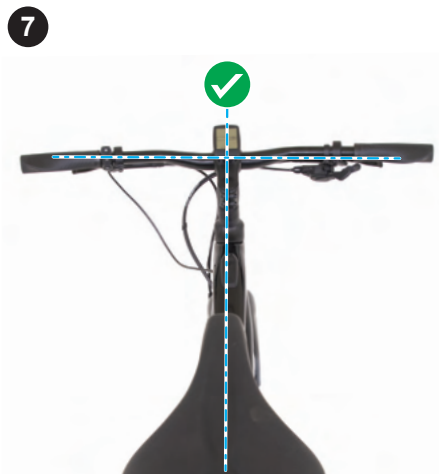


### スレッドレスシステム：

5. レンチと適合する六角ビットを使用して、ステムの後部にある2本のボルト(AとB)を(左に)回して緩め、ステムが回転する状態にします。
6. ホイールを膝の間に挟んで、ハンドルバーを回転させます。



7. ハンドルバーの位置をバイクの中央に合わせます。
8. トルクレンチと適合する六角ビットを使用して、ステムの後部にある2本のボルト (AとB) を (右に) 回し、トルク基準値で締めます。

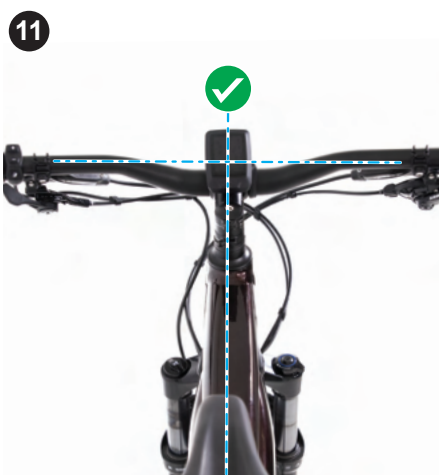


**Flow Stem (フローステム) :**

9. レンチと適合する六角ビットを使用して、ステムの後部にある2本のボルト (AとB) を (左に) 回して緩め、ステムが回転する状態にします。
10. ホイールを膝の間に挟んで、ハンドルバーを回転させます。



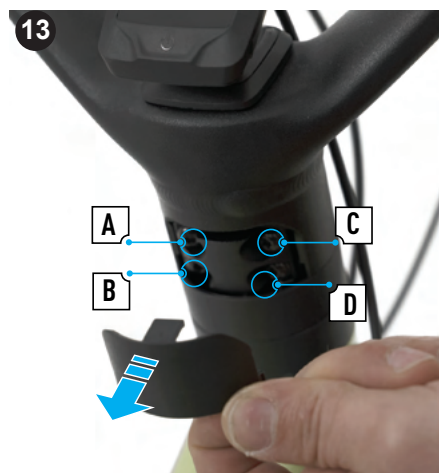
11. ハンドルバーの位置をバイクの中央に合わせます。
12. トルクレンチと適合する六角ビットを使用して、ステムの後部にある2本のボルト (AとB) を (右に) 回し、トルク基準値で締めます。



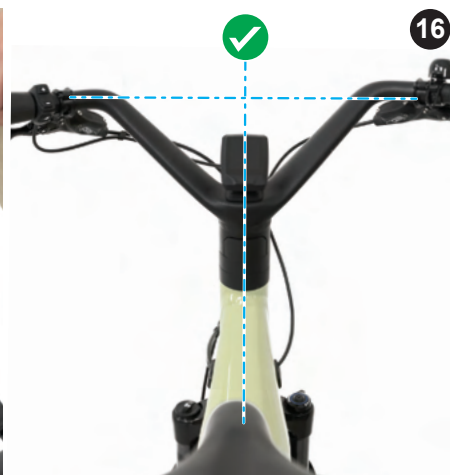
**COMO 一体型ステム :**

Como には、専用のハンドルバーアセンブリが装備されています。セットアップ方法は他のハンドルバーとは異なります。

13. 一体型ステムの後部にあるステアラーロッククランプのカバーを取り外します。
14. レンチと適合するトルクビットを使用して、ステアラーロッククランプにある4本のボルト (A~D) を (左に) 回して緩め、ステムが回転する状態にします。



15. ホイールを膝の間に挟んで、ハンドルバーを回転させます。
16. ハンドルバーの位置をバイクの中央に合わせます。



17. トルクレンチと適合するトルクビットを使用して、ステアラーランプボルト (A~D) を交互に軽く締めていき、最後にそれら 4 本のボルトをトルク基準値で交互に締め付けます。
18. ステムの後部にあるステアラーロッククランプのカバーを、元の位置にカチッとはめ込みます。



#### ペダルの取り付け

ペダルは、タイプによって、15mm フラットレンチまたは 6mm 六角レンチのいずれかを使用して取り付けます。



注意：ペダルは必ず正しく取り付けてください。左ペダルと右ペダルはねじ部が逆になっています。取り付ける側を間違えると、クランクが損傷する可能性があります。



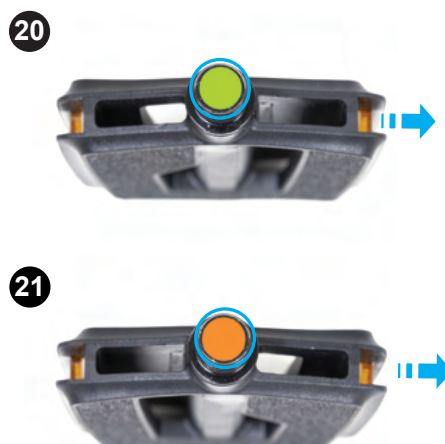
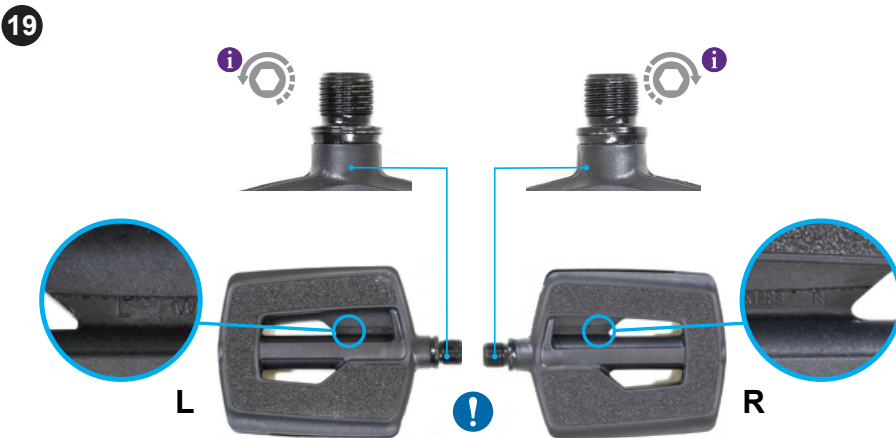
締め付ける際は、両方のペダルのねじ部ともバイクの前方に向かって回ります。

19. ペダルを梱包から取り出し、「L」(左ペダル)と「R」(右ペダル)を確認して左右を区別します。ペダルには、左右のクランクのステッカーに対応したステッカーが貼られています。



クランクのねじ部にはあらかじめグリスが塗布されています。

20. 右の「R」ペダルを右のクランクアームに挿入します (ドライブ側、右に回転させます)。
21. 左の「L」ペダルを左のクランクアームに挿入します (ノンドライブ側、左に回転させます)。



22. 六角レンチを使用するペダル：クランクアームの内側から挿入された適合する六角レンチを使用して、ペダルを所定位置に締め付けます。正しいテンションが得られていれば、見てわかるほどのツールの跡が手につきます。

23. フラットレンチを使用するペダル：フラットレンチを使用して、ペダルを所定の位置に締め付けます。正しいテンションが得られていれば、見てわかるほどのツールの跡が手につきます。



### ドロPPERシートポストの引き伸ばし

お買い求めいただいたバイクにドロPPERシートポストが取り付けられている場合は、配送に備えてドロPPERシートポストは、アッパーチューブをロウの位置にしてフレーム内の最も低い位置に取り付けられています。サドルの高さを調整する前に、ドロPPERシートポストを完全に伸ばした位置へと引き伸ばしてください。

24. ドロPPERシートポストレバーに片手の親指を置き、もう一方の手をサドルに置きます。

25. ドロPPERシートポストを伸ばさせる際は、親指でドロPPERシートポストレバーを押し、もう一方の手でサドルの引き上げを調整します。



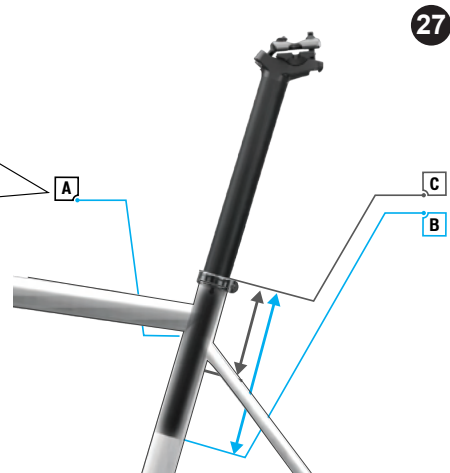
**!** 注意：乗車していないときに、シートポストの引き上げを調整する場合は、常に手を使って調整してください。この注意に従わないと、軽度または中程度の傷害につながる可能性があります。

### シートポスト最小挿入長

フレームおよび/またはシートポストの損傷を防ぐため、シートポストは最小限の長さをシートチューブに挿入することが重要です。この最小挿入長は以下の要件を満たす必要があります：

26. シートポストをフレームに、シートポストの最小挿入長/最大引出限度 (min/max) の印 (印がある場合) が見えなくなるまで深く挿入します (A)。

27. シートポストを、フレームにとって必要な最小挿入長 (C) の深さ以上 (B) になるように、シートチューブ内に挿入します。



**!** シートポストの最大引出限度と最小挿入長に関する詳細は、バイクに付属しているユーザーマニュアルを参照してください。

**!** 警告！ここで概説したシートポストの挿入要件に従わないと、フレームおよびシートポストの損傷を引き起こし、制御を失って転倒する可能性があります。

### シートポスト高の調整

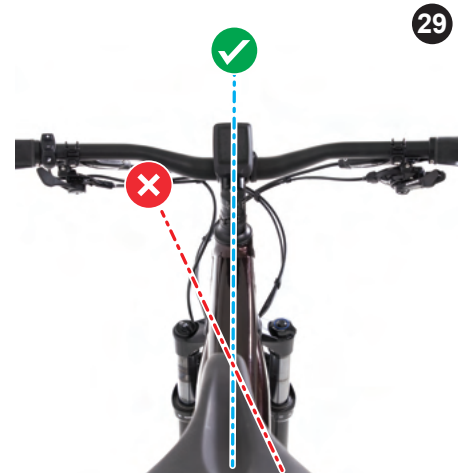
シートポストが次のどちらのタイプであるかを確認します：シートポストクランプ (A)、またはシートポストウェッジ (B)。該当するタイプを確かめ、その説明に従ってください。

**!** サドルの高さの設定に関する詳細は、オーナーズマニュアルを参照してください。



## シートポストクランプ

28. レンチと適合する六角ビットを使用して、シートポストクランプボルトを緩め、サドルの高さを好みの位置に設定し、シートポストクランプボルトを軽く締めます。
29. サドルの向きをバイクの中央のラインに合わせます。



30. トルクレンチと適合する六角ビットを使用して、シートポストクランプボルトを、シートポストクランプおよび／またはユーザーマニュアルに記載されている指定のトルク基準値で締めます。



## シートポストウェッジ

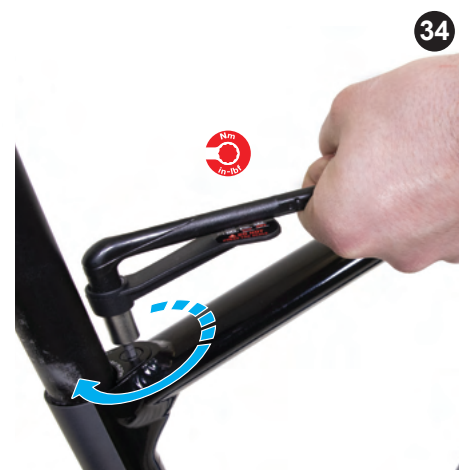
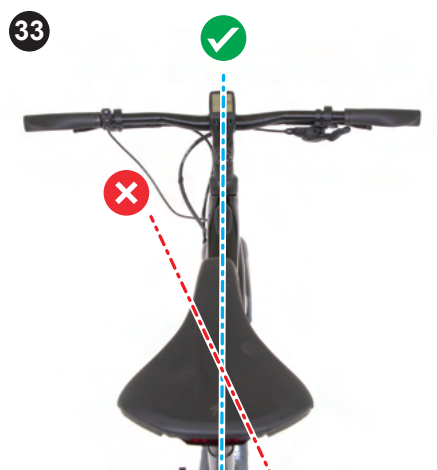


フロントシートポストとリアシートポストのウェッジは、同じ方法で調整できます。

31. レンチと適合する六角ビットを使用して、シートポストウェッジボルトを緩めます。
32. シートポストを好みの高さに調整します。



33. サドルの向きをバイクの中央のラインに合わせます。
34. シートポストの高さを設定したら、トルクレンチと適合する六角ビットを使用して、ウェッジボルトをトルク基準値で締めます。





## タイヤの空気注入

タイヤには必ず空気を入れ、正確な圧力ゲージ付きのポンプを使用して定期的に空気を入れる必要があります。

35. 好みの空気圧でタイヤに空気を入れます。この際、タイヤのサイドウォールに表示されている空気圧の範囲内に収めます。ホイールに最大空気圧が設定されているかどうかを、ホイールのマニュアルまたはリムのデカールを確認してください。最大空気圧を超えてはなりません。



詳細は、スペシャライズドバイクオーナーズマニュアルのタイヤおよびチューブのセクションを参照してください。



警告！タイヤに空気を注入する際は、サイドウォールに表示されている最大空気圧またはホイールメーカーが指定している最大空気圧のいずれか低い方の値を、決して超えないように注意してください。この警告に従わないと、タイヤがリムから外れる場合があり、重傷または死亡事故につながる可能性があります。

35



## バッテリーの充電方法



お買い求めいただいたバイクには、一定量に充電されたバッテリーが同梱されています。初めての乗車前に、バッテリーをフルに充電してください。安全に関する重要な情報およびバッテリーの正しい充電方法に関する説明は、バイクに付属しているユーザーマニュアルを参照してください。必ずすべての情報を読んでください。



警告！充電器が接続されているときは、バイクを動かしたり、クランクアームを回転させたりしないでください。クランクアームがコネクタに当たって、充電器のプラグおよび/または充電ポートを損傷する可能性があります。



充電中に、リアホイールのスピードセンサーマグネットがスピードセンサーを通過すると、バッテリーは安全モードになり、充電が中止されます。充電プロセスの中断を避けるため、充電中はリアホイールを回転させないでください。充電を再開するには、スピードセンサーマグネットが、ドロップアウト内のセンサーの近くに来ていないことを確かめ、充電器のコネクタを一度外してから再度接続して、充電を開始してください。

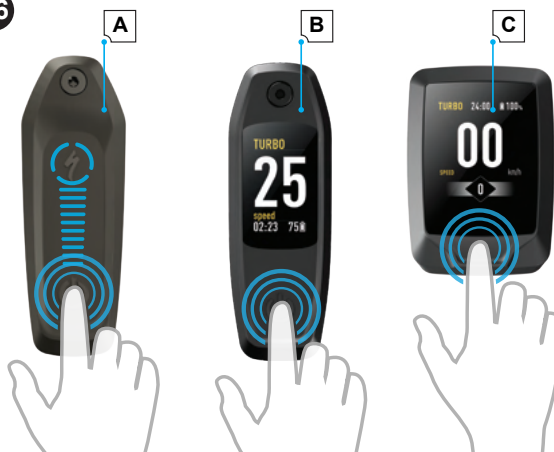


## MISSION CONTROL への接続

モデルに応じて、バイクには TCU (A)、MasterMind TCU (B)、MasterMind TCD (C) のいずれかが装備されています。


36. TCU または TCD の POWER ボタンを使用して、バイクの電源をオンにします。  
37. バイクのユーザーマニュアルに記載されている手順に従ってバイクを Mission Control アプリに接続し、オンラインでライダー登録を完了します。

36



37



 **警告！**初めて乗車する前と毎回の乗車の前には、以下の安全点検とオーナーズマニュアルで説明されている安全点検を必ず行い、その後も定期的にバイクの安全性を確認してください。この警告に従わなかった場合は、重傷事故につながる可能性があります。

1. ナット、ボルト、ビス、その他の留め具：シートポスト、ステム、ハンドルバーが正しく締め付けられていることを確認します。ハンドルバー、ステム、シートポストの締め付け具合は、足にバイクを挟み、ハンドルバーとサドルをひねったり、前後に押したり引いたりすることで確認できます。この際、ハンドルバーとサドルが動いてはなりません。いずれかのコンポーネントが動いてしまう場合は、パーツの位置を再度揃え、ボルトをより強く締め付けて、もう一度試します。動きがなくなるまで繰り返してください。トルクレンチを使用して、バイクに使用されているすべてのボルトがトルク基準値で締め付けられていることを、定期的に確かめてください。
2. シートポスト：サドルが適切な高さになっていることを確認します。必要であれば調整します。
3. タイヤとホイール：ホイールがスムーズに回転し、ぐらついていないことを確認してください。ホイールが、フレームとフォークの中央に位置していることを確認してください。ホイールがぐらついていたり、中央に位置していない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせいただくか、スペシャライズド正規販売代理店にお越しくください。
4. タイヤ空気圧：タイヤには必ず空気を入れ、正確なゲージ付きのポンプを使用して定期的に空気を入れる必要があります。詳細は、バイクに付属しているスペシャライズドバイクオーナーズマニュアルのタイヤおよびチューブのセクションを参照してください。
5. ブレーキ：ブレーキは、あらかじめ調整と設定がなされています。ブレーキパッドまたはアームが正しく調整されていない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせいただくか、スペシャライズド正規販売代理店にお越しくください。ブレーキパッドは定期的に点検し、摩耗がないことを確認してください。ブレーキパッドは、摩耗ライン以下になったら必ず交換してください。ブレーキパッドを交換する必要があるって、ブレーキパッドを交換した経験がない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせいただくか、スペシャライズド正規販売代理店にお越しくください。バイクの前後どちらかの側を持ち上げて、ブレーキをテストしてください。前後それぞれのホイールを回し、ブレーキレバーを絞ります。ブレーキが正しく機能していない場合は、カスタマーサービスにお問い合わせいただくか、スペシャライズド正規販売代理店にお越しくください。

定期的にバイクを点検し、バイクのすべてのコンポーネントに損傷がないことを確認してください。摩耗や損傷のあるコンポーネントは交換するか、またはスペシャライズド正規販売代理店に交換を依頼してください。